

# 国際シンポジウム「医学部入試の課題と改革」

主催：H24～27年度文部科学省科研費基盤（B）「わが国の医学部入試の妥当性と将来像に関する多面的国際共同研究」研究班（研究代表者 大滝純司）

協力：東京大学大学院医学系研究科附属医学教育国際研究センター

目的：わが国の医学部入試の現状と課題について国際的視点から多角的に検討し、その改革の方向性を探る一助とするために、国内外から医学部入試に詳しい関係者を招いて幅広い情報を共有し議論する。

日時：2013年 10月 26日（土）

開場 13:00 開会 13:30 閉会 17:00 情報交換会 17:30～

会場：東京大学 伊藤国際学術研究センター 謝恩ホール

参加対象者：医学部・医科大学教員、医学生、医師、医療関係者、一般市民など（定員 200名）

演者と講演内容（仮題）：

- Clarence D. Kreiter（米国：University of Iowa）：世界の医学部入試の概説
- 大滝純司（日本：北海道大学）：日本の医学部入試の現状と課題
- 武田裕子（米国：BI-Deaconess Medical Center）：健康格差、医療格差と医学部入試
- Peter McCrorie（英国：St George's, University of London）：英国全体とロンドン大学セントジョージ校の医学部入試の状況
- Chi-Wan Lai（台湾：Taiwan Medical Accreditation Council）台湾の医学部入試の状況

使用言語：英語および日本語（同時通訳はありませんが一部のスライドは二か国語表記です）

参加申し込み：9月中頃に北海道大学医学教育推進センターのホームページ（<http://hmedc.com/>）などでご案内します。定員になり次第、締め切らせていただきます。

